

様式第3号(第8条関係)

(平20告示17・平25告示5・一部改正)

「岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン(整備方針)(素案)について」
パブリックコメントの結果

☆意見等の募集期間： 令和4年10月18日～令和4年10月31日

☆意見等の受付件数： 1人 1件

(提出方法の内訳：郵便等 0人、ファクシミリ 0人、電子メール 0人、持参 1人)

1 ご提出いただいた意見等を内容により整理し、意見等の概要を掲載します。

岩宿駅周辺整備についての意見

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	JR両毛線は、重要な幹線であるとは考えられないが、岩宿駅から「持続可能なまちづくり」が生まれるのか。	JR両毛線は、本市と桐生市・伊勢崎市・前橋市・高崎市を結ぶ重要な幹線と捉えています。また、岩宿駅は、市内の鉄道駅の中で最も利用者数が多く、主要な国道道に近接しており、既に商業業務系施設の集積や集落がまとまっているなどの優位性があるため、岩宿駅周辺が「持続可能なまちづくり」に適した地域であると考えます。
2	群馬県は車社会であり、岩宿駅がまちづくりの核となることに疑問がある。	今後、高齢化のさらなる進行や温暖化などの環境問題に対応するため、自動車以外の交通手段も選択できるまちづくりが重要と考えます。そこで、岩宿駅の交通拠点機能を強化することで、まちづくりの核を形成していきたいと考えます。
3	人口減少社会により岩宿駅の利用者数は減少すると考えられ、駅舎や駅前広場の整備を行っても観光客が増加するとは考えられない。	岩宿駅からおおむね1km圏内には、公民館、文化ホール、市民体育館をはじめとした公共施設や、岩宿遺跡や阿左美沼、鹿の川沼などの優れた歴史・自然的資源が数多く存在します。駅舎や駅前広場の整備と合わせ、それらを周遊できるような環境を整えることで、観光客・来訪者の増加につながることを期待されます。
4	「勉強や飲食ができる多目的スペースの整備」が挙げられているが、現状、学生が帰宅する際はすぐに駅から去ってしまうことから、利用者がいるのか疑問である。	駅利用者アンケートを行った結果、平日の駅利用者のうち8割が通勤・通学目的であり、駅周辺にあったらいいと思う施設の第3位に「勉強や仕事等ができる空間」が挙げられています。そのため、電車の待ち時間や帰宅前の空き時間で一定のニーズはあると思われませんが、十分に調査・研究した上で事業に着手します。
5	今後、利用者が減少すると考えられる駅の整備に多大な資金を投入することに疑問を感じる。	岩宿駅に近接する国道の交差点改良と連動して、朝夕の時間帯で慢性的に混雑している駅前広場の整備が必要となっています。その後、整備範囲を駅周辺に広げ、公共施設や集客施設へのアクセス性と回遊性を高めることで、地域の利便性や魅力の向上による波及効果が期待できるため、資金の投入は妥当であると考えます。

☆問い合わせ先：都市建設部都市計画課

TEL：0277-76-1903

FAX：0277-76-1951

電子メール：toshikeikaku@city.midori.gunma.jp